

JR東海労ニュース

9条堅持!



山岡けんじ

No.1833

2013年4月28日

JR東海労働組合

効績章表彰式の配偶者出席廃止を撤回せよ!

効績章表彰式についての申し入れに関する業務委員会開催

本部は4月26日、「効績章表彰式についての申し入れ」に対する業務委員会を開催しました。これは、会社が2月上旬に一部の職場において、今年度より効績章表彰式への出席者を受章者のみとするという掲示を掲出したことから、2月12日に『申第32号』として解明を求めているものです。

会社は、ライフスタイルの変化、婚姻率の低下、女性の社会進出などの社会的変化や、効績章表彰式への配偶者の出席率が5～6割になったことを理由に受章者のみの出席とするとなりました。本部は「会社の理由は理由になっていない。配偶者の出席率が5割になろうと、出席を希望する配偶者がいる限り出席を認めるべきだ。参加率が低下したなら、原因を調査して出席率を上げる努力をすべきだ。」と主張しましたが、会社は頑なに拒否しました。さらに、写真撮影を廃止することも明らかにしましたが、これは本部が質問しない限り明らかにされなかったことです。

また本部は、出席者の待遇改善も要求していましたが、会社は旅行クーポン券の金額を10万円から12万円に引き上げると回答しました。しかし会社は、これら変更点を全社員に周知することはないとしました。永年勤続表彰に関わる変更は社員にとって重大な関心事です。直ちに全社員に周知するべきです。また労働組合への説明は、申し入れがあった組合には説明すると答えるなど、組合を軽視した態度です。

そもそも旅行クーポン券の増額は、配偶者の出席廃止と写真撮影を廃止した分が回っただけではないでしょうか? JR東海ユニオンは早速「要求実現!」と評価していますが「配偶者と一緒に表彰式に出席したかった」という組合員の声はなかったのでしょうか?

会社はこの間、数々の福利厚生を切り下げています。本部は、効績章表彰式への配偶者出席廃止についても経費削減の一環ではないかと問いただしました。会社は「福利厚生を切り下げたことはない。効績章表彰式は福利厚生の分野ではない」と否定しました。しかし、会社が行っていることと現場社員の声とでは、実感や受けとめ方の違いがあり、その差が改めて明らかにされました。

JR東海労は、今後も現場社員の声を会社にぶつけていきます。

旅行券は10万円から12万円に改善!
それって配偶者出席廃止と写真撮影廃止の分?